

## 地域の安全を守り39年。

稲井 善郎さん  
(69歳・青葉町63)

昭和30年に斜里消防団第1分団に入団、分団長を務めるなど、およそ39年間の長きにわたり活躍されました。  
「入ったころは、消防車も2



台しかなく、小型ポンプしかない地域もありました。道路は砂利道、住宅も今のものとは違い、ストーブもほとんどがまきストーブでしたから、今よりはるかに火事は多くて、大きな火事は間違いなく全焼してしまうような時代でした。浜小清水や小清水、清里へ応援に行ったこともあります。」

「冬の火事は特に大変でした。水を出そうとしてもホースの中で凍ってしまつて、なかなか出てきませんでした。実践が訓練のようなもので、大火事の最後の残り火でよく訓練

## 先進的経営を实践 「農業が好きだから...」

安藤 功さん  
(66歳・川上100)

たい肥による肥よくな土づくりのため、昭和56年、地域の仲間と島根県から黒毛和牛4頭を導入。畑作と畜産の複合経営に取り組みました。



「最初はホルスタインを飼育していましたが、徐々に切り替えていき、平成3年には全頭が和牛になりました。牛を育てるといのは、牛が好きでないとできません。金儲け度外視で、自分たちが愛情をもって育てることが大事だと思います。」

J A斜里町の次席・代表監事を19年務められ、斜里町農民同盟副委員長を10年、斜里地区農業共済組合次席監事を4年と、長く農業の発展に寄与されました。また、川上自治会の副会長・会長を8年、斜里町固定資産評価審査委員を14年務められ、地域の発展と税務行政の推進にも貢献されました。  
「今では他の農家でもやって

# 長年の労に 光。

まちを創つた方々に感謝

町民憲章を進んで実践し、町の発展に尽くされた方々の功績を讃え顕彰する、今年の顕彰者が顕彰委員会の審議を経て決まりました。  
11月3日(文化の日)、午前10時30分からゆめホール知床で晴れの授与式が行なわれます。  
まちを創つてこられた方々のお祝いに、ぜひお越しください。

今年4名の方々を顕彰、町長表彰は3団体、7名に。  
11月3日、ゆめホール知床で晴れの授与式を挙行いたします。

社会功労章に輝く

いることですが、うちでは昔から、家族に給料を支給しています。利益を給料として家族に支給することで、やる気も出ます。家族経営といえども、経営には変わりないですから、当然のことなんです。

どね。息子に経営を譲った今では、私が給料をもらっていますよ。」  
機械や建物の購入は自己資金で。土地購入も半分は自分でまかなうのが経営信条。  
「あまり借金をしないことで、

経営を安定させていけると思っています。」  
「農業の原点は、働くことだと思っています。仕事が好きだから1年中やっけていても飽きませんよ。」

仲間とともに  
民生安定に尽力。

昭和55年から23年間にわたり民生児童委員として、また昭和60年からは社会福祉協議会評議委員として、民生の安定と福祉向上に努められてい

ます。

「何も分からないままお引き受けしましたが、思った以上に難しい仕事だと感じました。」  
「民生委員」生活保護対応」というイメージが強かったため、訪問などにも細心の注意をはらいました。「できるだけ敷居をま

瀧口 キヨさん

(66歳・朝日町22)



たがないようにと気を付けていましたね。また当時は、一人暮らしのお年寄り

も多く、そういう人たちは家に閉じこもりがちでした。今は、とてもお元気なお年寄りが増え、それに老人保健や介護保険などの制度も充実し、お年寄りに関わる問題は少なくなりました。これから大変になってくるのは児童問題ではないでしょうか。耳を疑うような虐待などのニュースが毎日のようにテレビで流れ、思わずテレビに向かって怒鳴ってしまいます。」  
続けてきてよかったのは、人のためでなく自分のためになった、とにかく勉強になったということ。  
「民生委員はみんな仲間。仲間と知り合いになれて、一緒にやってこられたことが、この仕事をやらせていただいた一番よかったことですね。」

文化功労章に輝く

画作に情熱  
芸術文化の振興に寄与。

故真鍋 光男さん  
(享年73歳・文光町33)

本町の芸術文化振興に多大な貢献をされた洋画家の真鍋光男さんは、かねてより療養中のところ、8月29日逝去されました。73歳でした。  
真鍋さんは、昭和50年、全

町民の絵画サークル芸術会(ぼっさいかい)の指導は、昭和37年から続けられ、美術の振興を通じて町民の芸術文化の振興に多大な功績を残しました。



また、昭和56年から保護司を長年にわたり務められ、犯罪者の更生保護に尽力されるとともに、犯罪のない明るい社会を築くための犯罪予防活動にも積極的に取り組まれました。

生前のご活躍を永くたたえ顕彰し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

北見美術協会の会員となり、画作に精進され、昭和58年には一水会に入選、その後、横浜市での個展開催をはじめ、道内外で37回の個展を開催。平成8年には、北の大地展優秀賞に輝くなど活躍され、多くの絵画ファンから愛される作品を数多く残されました。

## 産業功労

**鐵 顯彦さん**（ウトロ香川62）  
昭和55年から町観光協会理事、平成10年からは会長として知床観光振興の先頭で活躍、平成11年には斜里町観光協会を知床斜里町観光協会に改名し、全国に斜里町をアピールしました。北海道観光連盟理事、網走管内観光連盟副会長として、北海道の観光振興にも尽くしました。

## 教育功労

**三宅 清次さん**（川上123）

五十地元子さん（本町15）

脳卒中等のリハビリ教室参加者らが平成3年に設立した「つくし友の会」。設立以来事務局長を務める夫・幸男さんを支え、二人三脚で会の円滑な運営に尽くしました。

峰浜自然愛護少年団

昭和49年の結成以来、全校生徒一丸となり知床の自然を守るための活動を継続し、今年30周年を迎えました。峰浜キャンプ場の清掃、学校花壇の造成管理など環境美化活動にも積極的に取り組んでいま

# 町長表彰に輝く方々

平成3年から町老人クラブ連合会理事、平成5年からは事務局長を務めています。また、生きがい大学自治会長として、出前講座や文化交流会などを取り入れ、高齢者の生きがい活動に尽くしました。

## 社会功労

**今井 文雄さん**（ウトロ東27）

平成元年、法務大臣より人権擁護委員に委嘱され、各種人権に関わる問題の処理にあたるとともに、人権思想の普及・高揚に努めました。

成、以来37年にわたり団長を務め団の発展に尽くしました。また、町文化連盟の監事、理事を歴任し、文化振興に貢献しました。

斜里民謡同好会

昭和46年、斜里ハマナス民謡会として発足以来、33年間の活動の中で、熟年層はもとより少年まで幅広い民謡愛好家を育成しました。昭和57年には三味線部会を併設、演奏者の育成にも力を注ぎ、町の文化振興に貢献しました。

## スポーツ功労

**石崎 徹さん**（本町20）

昭和56年、斜里柔道協会入会以来、柔道スポーツ少年団の指導者として指導にあたり、多数の有段者を輩出しました。管内の各大会においては、運営・審判等で参加協力、協会の選手・役員を中心となり活躍し、柔道の普及発展を通じて体育振興に貢献しました。

**清水多美子さん**（文光町17）

昭和52年斜里弓道会入会、女子のリーダーとして初心者、指導や会の融和に尽くし、自らも精進を重ね弓道五段を取得。弓道の普及を通じて体育振興に貢献しました。

## 特別スポーツ奨励賞

**桑島 優さん**（ウトロ香川142）

平成16年8月に甲子園球場で開催された第86回全国高等学校野球選手権大会に、北海道代表の駒澤大学附属苫小牧高等学校の中心選手として出場。北海道勢として史上初となる全国制覇を成し遂げ、北海道を歓喜の渦につつま

した。少年野球チームウトロフリッパース出身です。

## 文化奨励賞

平成15年度斜里高等学校吹奏楽部

平成15年11月3日に東京都で開催された2003年日本管楽合奏コンテストで優秀賞を受賞しました。

## 体育協会会長表彰

弓道会

桐山 尚隆さん（本町17）

剣道連盟

畑山 哲也さん（豊倉70）

スキー協会

佐藤 伸一さん（朱円東78）

スケート協会

森野 成行さん（以久科北167）

サッカー協会

野上 祐二さん（文光町62）

サイクリング協会

梁田 英明さん（文光町66）

パークゴルフ協会

水野 栄子さん（本町39）

## 文化連盟会長表彰

斜里短歌会

山中フジエさん（港町17）

斜里はまなす吟詠会

木村 のぶさん（光陽町18）

吟詠静鳳流鳳俊会

宮内 茂子さん（朱円東7）

吟詠静鳳流鳳俊会

保村 登枝さん（本町21）

知床流氷太鼓保存会

小澤 賢二さん（本町53）